

ペンだこ

折原彩世

それは漢字ドリルを解いていた私の薬指に

それは受験勉強に追われた私の中指に

鉛筆を正しく持てず怒られたときも

テスト期間で殴り書きしたときも

私と机に向かっていた この不格好な腫れは

今も 度々 誇らしく

はれてみせる